

# 例会報告

第2613回例会報告議事録

日時 令和2年7月21日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト：柏RC 岸本会員

ビジター：なし

S.A.A.: 小池喜之

## 会長挨拶

村越会長



こちらハート柏迎賓館での例会は今日で2回目となりました。もうしばらくこの会場を使わせていただきますので、よろしくお願いいたします。

入口を入った所で、テーブルのアルファベットの番号札を取っていただいて毎回違う席に座るという案を小池会員が考えてくださり、箱を自作してくださり、プレートも寄贈してくださいました。今後も続けていきたいと思っております。

お手元に今年度の活動計画書をお配りしました。誤字脱字等ありましたらお知らせください。

先週金曜日に第11グループの会長幹事会が行われました。先週も東京は毎日200人を越えるコロナの患者が発生している中で、皆さん、例会をどうするかを試行錯誤している状態でした。

柏クラブ、柏西クラブはクレストホテルを例会場に行っているのですが、クレストホテルは非常事態宣言が出ている間は休館になり、その間は休会で、再開してからも通常の例会の部屋の倍の広さの部屋を使っているそうです。室料も倍取られるそうです。しばらくはスクール形式で、机を前向きに並べてテーブルの両サイドに2人ずつ座って食事をして、前向きで例会を行っていたそうです。7月から円卓に戻ったそうですが、通常8~10人座れるところ5人で座っているそうです。柏さんも西さんも企業からの出向の会員の方も大勢いらっしゃり、企業によっては、円卓の食事を伴う会合は出席禁止で、スクール形式のつもりで来たら円卓になっていたのでは帰った方もいらっしゃるそうです。

柏南さんは麗沢大学で例会を行っていますが、大学は川村学園と一緒にまだ再開しておらず、通常の例会場でスクール形式で食事をしていたのですが、やはり話ができないのはつまらないので、今年度からは来た順で少人数で1階にある「まんりょう」というレストランで食事をして、食後に例会場に上がり、マスクをして例会を行っているそうです。

柏東クラブさんは藤ヶ谷ゴルフで行っているのですが、やはり今までの倍の大きさの会場で行っているそうです。大きなコンペがあると使わせてもらえなくなるので、沼南に新しくできたルートイン柏南の食堂で例会を行ったそうです。

各クラブ共、コロナ対策をしながら例会をなんとか続けたいということで試行錯誤をしています。我孫子もこういう状態で、気をつけながら続けていければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

地区内のグループの再編についてですが、第11グループが来年度より野田の3クラブと一緒にあって、我孫子は第10グループになります。今まで輪番制でガバナー補佐が出ていたのですが、順番で言うと来年は柏東さんからだったのですが、補佐の選考もガバナーエレクトの一任という形になります。今年度のガバナーエレクトは千葉クラブの梶原ガバナーエレクトですが、今までは輪番制だったので、来年以降、決めるのが大変かなと懸念しているところでございます。

本日の卓話は柏クラブの総合警備保障株式会社 柏支社長の岸本孝介様をお願いしております。本来でしたら東京オリンピックの開会式があさっての予定で大変お忙しいところだったのですが、今日は来ていただけて嬉しいです。ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 親睦委員会報告

柳田委員長



先週、親睦委員会の方に残っていただいて、10月4日(日)・5日(月)を親睦旅行の予定候補と決めさせていただきました。ただコロナ禍で変更等あるかと思っておりますのでご承知置きいただければと思います。

## 出席委員会報告

前田委員長



23名(出席免除者含む)出席(全員で32名) 出席率71.87%  
業務の為:石原会員、小野会員、梶会員、小山会員、佐藤(雅)会員、塩毛会員、志賀会員、湯下会員、米田会員

## 地区の職業社会国際奉仕 統括委員会報告

藤本委員長



3月7日(土)に地区の研修セミナーを行った後、地区の集まりができていないということで、7月10日(金)にズーム会議を行いました。地区のセミナーは延期で日程は未定です。8月7日(金)に千葉で委員会を開き、9月6日(日)にオンラインで情報発信をするとのことです。

九州地方の水害に対して2790地区で寄付が集まっていますが、当面、現場の方からリクエストがない限りは送らないでくださいとのことでした。

## 幹事報告

倉持幹事



- ・地区の米山記念奨学委員会より委員長セミナー開催のお礼受理。
- ・来週の卓話は瀧日会員にお願いしてあります。

## 卓話

柏 RC 会員 総合警備保障株式会社 柏支社 支社長 岸本孝介様



今日は荒井パスト会長より貴重な卓話の場をいただきまして、誠にありがとうございます。

ロータリー歴は一昨年6月に柏支社長に赴任したと同時に入会させていただいて、ちょうど2年くらいになります。

会社としては平成7年から柏クラブに入らせていただいています。会社としても東京クラブをはじめ全国で40人くらいの支社長がロータリークラブに所属させていただいております。

我孫子クラブさんにはお仕事の関係の皆様もいらっしゃいますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日のテーマとしては「安全安心な社会の構築」ということで3つのテーマにしぼってお話できればと思っております。

コロナ禍での犯罪、今月から我孫子市で始まる高齢者に向けた緊急通報サービス、コロナ禍の避難所とインフラ関係等、万全な災害対策等について簡単ではありますがお話ししたいと思います。

3~5月はステイホームということで家にいる機会が多かったので、全国的に住宅及び住宅以外の侵入窃盗は2割程度減少しました。

当社のホームページにも掲載されていますので、お時間ありましたらご覧になってください。

空き巣、夜間等の忍び込み、2階で食事中に1階に入ってくる等の居空き(いあき)は全体的に、3月ですと14.4%、4月ですと20%くらい減少しました。

空き巣被害は大幅に減っていますが、忍び込みや居空きはそんなに変わっていません。愛知県ではステイホーム中にお子さんが留守番中に泥棒と八合わせることがありました。

千葉県の状況としては、住宅関係の侵入は3月は12.4%、4月は48.2%でかなり減りました。

事務所の被害はどうかと言いますと、数字にばらつきはありますが、お店の閉店中の被害は3月はかなり増え、4月は少し減りました。事務所荒らしについては4月は8%くらい増えました。

病院は意外だったのですが増えました。3月は71%、4月は32%です。

全体的に住宅以外の犯罪は全国的に減っているのですが、3月、4月は減少ペースが鈍化しています。

(次ページへ続く)



3月、4月で大幅に増えた地域もありました。北海道は29.9%、東北は41.9%、埼玉は40%、山形に至っては4倍くらい増えています。

最近6月、7月はより凶悪化していると言えると思います。飲食関係を中心にアルバイトの方の金銭的な減少等もあり内部犯行も増えたりしていますので注意が必要かなと思います。

感染防止ということで3密を避けなさいと言われてはいますが、防犯も3つの要素が重要と言われています。

犯罪発生の3要素というのは、1. ある時間と空間において動機を持った犯行者、2. 格好な標的、3. 有能な監視者の不在です。こういった要素が重なり合うと犯罪が発生します。

景気の悪化、情勢不安の時には犯罪者が増えます。まさに今回のコロナ禍ではこれに当たります。外出の自粛要請が出て、人の往来が減り、街が閑散とし、有能な監視者が不在だったこと等も影響しています。

こういったことに対し我々にどういったことが必要かということで、我々が取り組んだ事例をご紹介します。

やはり先ほど申し上げた有能な監視者を地域で増やすということが重要になります。

兵庫県の加古川市が取り組んだことですが、子供たちの安全を確保する為に通学路の見守り活動ということで、見守りカメラを設置しました。総務省のスマートシティ事業で選定されていて、自治体と一緒に2年間でカメラを1500台くらい街灯に設置しました。位置検索の端末と連動し、お子さんの居場所とその時の映像を親御さんのスマートフォンやタブレットで見れるような機能もあります。

加古川市の警報認知件数は、カメラを設置してから徐々に減っています。一番多い時と比較すると30%くらい減りました。

我孫子市では高齢者の見守りをどうするかということで、消防と自治体と連携して消防直通のサービスを長年やっています。非常通報ボタンを設置させていただいて、押していただくと消防に直通で通報が行きます。自治体の消防としての業務は縮小しており、どんどん民間に解放されており、我々が手を挙げさせていただき、今月から順次開始させていただいております。

警備員の駆けつけと健康相談をセットにしたサービスになっています。具合が悪くなった時や緊急時にボタンを押していただくと警備員が駆けつけるという形になっています。相談のボタンを押していただくと、我々の会社の健康相談の部署に直接つながり、簡単に問診できるようになっています。現在アルソックグループで492の市区町村でこういったサービスをやらせていただいています。

我孫子市では当面、警備員の駆けつけと健康相談をやらせていただくのですが、オプションとして例えば、熱中症対策として熱感知装置を設置すると一定の設定温度を越えるとアラームで知らせるようになっていて、お子さんや親戚にメールで通知することもできます。

また、災害時の避難支援として防災メールを受け取ることができない高齢者の方たちのために、地域の防災無線やメール等と連結して、防災メール文を読み上げることもできます。

認知症の方の徘徊対策として、小さいタグを持って歩いていただくと、仮に行方不明になった時等に対応ができます。

ただ、これらはオプションなので我孫子市の緊急通報システムには組み込まれていませんが、今後新しいメニューとして追加することも出来ると思っています。

昨年の西日本豪雨で自治体の方から要望があったのは、特に高齢者の方に避難情報が届き、実際に避難してくださったのが把握できなかったのを、把握できるようにできないかということでした。高齢者にとどまらず、住民みんなの避難状況を確認するために、こういったタグを活用できるので、自治体の方で活用していただくと災害時に円滑な避難誘導につながるのではないかと思います。

最後に、コロナ禍の避難所の課題ということで、今まさに先月、豪雨災害が発生し、いかに3密を避けながら避難所生活を送るかが課題になっています。

今現在、災害時の避難誘導で大きな課題になるのは、1. 感染対策、2. 避難者の把握、3. 関係者の情報連携と言われています。三つとも大事ですが、感染対策をしっかりとやるために避難者の把握と関係者の情報連携を効率的にかつ簡素化して、感染対策に一番の労力を費やすことが大事になります。

見守りタグを使って、避難者を効率的に避難所に向かわせ、避難経路を通り、避難所にたどりついたかどうかを自治体や避難所を運営する方が把握し、たどりついていない人の所に駆けつけるか、近くにいる人たちに連絡を取って避難を再誘導をしてもらうように結びつけることができるのではないかと考えています。

来年のオリンピックの警備で活用することになるのですが、このシステムを使って関係者の情報連携をしようと思っています。それを避難にも活用できないのかということで、携帯アプリを入れて、

タブレットやスマートフォンのボタンを押すと、一番最寄りにいる人に通知が行って、その避難者の確認に駆けつけること等ができます。

避難所の内外で情報連携をすることで、救援物資が偏っていたらAの避難所とBの避難所で不足しているものを交換することもできます。

自治会、消防団、民生委員の方等でこのシステムを使って情報連携すれば、避難弱者と呼ばれている高齢者の方やお子さんたちの避難支援をすることができるのではないかなと思います。

最後に当社が目指すことですが、我々独自のインフラと言いますか、全国津々浦々張り巡らせている警備員の人的リソースのノウハウ、24時間の監視センター、監視リソースを活用して安心安全なサービスを提供できないかと考えております。が、我々だけではできないことはたくさんありますので、地域の皆さんや自治体の方とコラボレートして、今までにないような新たなサービスや価値を創出できないかと考えています。その一環として避難所や、高齢者やお子さんの見守りを、ひとつのサービス、システムを提供することによって比較的安価なものとしてできるようになってきました。今後、皆様といろいろなノウハウを共有しながらやっていきたいと思っています。

こんなことをアルソックにお願いしてみたらおもしろいかなということがあれば、是非ご協力させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

まとまりのないお話で大変恐縮ですが、本日は大変貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。ご清聴ありがとうございました。

## 開会の言葉

村越会長

2613回の例会を閉会いたします。点鐘いたします。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
村越会長	岸本様 卓話ありがとうございました。	1,000円
荒井会員	岸本様 卓話ありがとうございました。	1,000円
上村英生会員	岸本さん卓話有りがとうございます。	1,000円
上村文明会員	岸本様ありがとうございました。	1,000円
小池会員	岸本さん卓話ありがとうございました。	1,000円
寺井会員	岸本様 ありがとうございました。	1,000円
服部会員	岸本様 卓話ありがとうございました。	1,000円
前田会員	岸本様 卓話ありがとうございました。	1,000円
柳田会員	岸本様 卓話ありがとうございました。	1,000円
依田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
	当日計	10,000円
	今期累計	57,000円

今週の表紙「東陽寺」千葉県我孫子市根戸357番地

旧水戸街道沿いの北柏駅から徒歩10分程の場所にある真言宗豊山派のお寺です。自然豊かな境内には、四季折々の美しい花が一面に咲き誇ります。創建年代等是不詳ですが、江戸時代初期には既に存在していました。法話会、供養会等の他、ボーイスカウトとの交流など様々なボランティア活動も行っているお寺です。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。